

サウジアラビアに中東水処理技術センターを新設 -中東・アフリカ及びその周辺地域における水処理ソリューションのさらなる 高度化へ-



2025年6月9日

東レ株式会社

東レ株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：大矢 光雄、以下「東レ」）は、このたび、サウジアラビア王国・ダンマームにおいて、水処理膜から水処理プロセスまで一貫した水処理技術サービスを提供する施設「中東水処理技術センター“MEWTEC”（Middle East Water Treatment Technical Center）」を新たに設立しました。

本施設は、当社中東拠点であるToray Membrane Middle East LLC（TMME）の敷地内に建設され、2025年4月より稼働開始しています。

本拠点は、中東・アフリカ、及びその周辺地域における水需要の急速な拡大を受け、高まる産業や都市インフラにおける廃水再利用・海水淡水化の高度化ニーズを背景に、当社の技術力をよりタイムリーに現地で発揮できる体制を構築するとともに、現地の水問題を解決するソリューション開発をリードしていくことを目的としています。MEWTECの設立により、当社が重視している納入後の迅速かつ専門的な技術サポートをより一層充実させ、当該地域のお客様との信頼関係の強化と長期的なパートナーシップの構築を促進してまいります。

東レは、2050年に目指す世界を示した「東レグループ サステナビリティ・ビジョン」や、持続的かつ健全な成長の実現に向けた長期経営ビジョン“TORAY VISION 2030”の中で、安全な水の提供を東レグループが取り組むべき課題として掲げています。今後も、RO膜をはじめとした最先端の膜技術を提供し続けることや、需要地での技術サービスをより一層強化することにより、産業拡大、人口増加により今後ますます水需要が拡大することが見込まれる中東・アフリカ地域をはじめ世界の水問題解決に貢献してまいります。

MEWTECの主な機能と特長：

- **分析・評価設備の強化**

最新の水質分析装置・RO膜評価機器を導入。返送された膜モジュールのオートプシー（解体調査）や、運転水質の詳細分析を通じて、原因特定と改善提案を迅速に行います。

- **実機規模パイロット装置の導入**

RO連続評価システムを新設し、お客様の処理水条件に則した最適な運転設計や、膜の長期性能を現地で実証することが可能になります。

- **東レ水処理膜製品やその先端技術を体感する機会の創出**

製品展示エリアやワークショップスペースを備え、現地オペレーターや技術者へ東レの水処理膜製品およびそ

の技術を体感いただく機会を提供します。これにより、膜製品の性能を最大限に引き出す運転スキルの定着を図ります。

- **オープンラボによる産官学連携の強化**

大学・研究機関・顧客企業との技術連携を推進するため、共同実験や研究開発の場を提供します。中長期的には、中東地域における水処理技術の発展にも寄与することを目指します。

【写真】 MEWTEC外観



水処理ウェブサイト： <https://www.water.toray/ja/>

以上

本事業に関するお問合せ 

東レ公式SNS



note



Copyright © 2025 TORAY INDUSTRIES, INC.